



みなさま、こんにちは！急に寒くなってきましたが体調はいかがでしょう。あたたかい服装でお過ごしくださいね。さて、今月号では弱視についてお話します。みなさまは、弱視とは何か知っていますか？少し前に弱視の女の子が主人公のドラマがあったので、それで知った方もいらっしゃるかもしれませんね。

眼科豆知識 ～弱視についてのお話～



○弱視の定義とは・・・？

弱視という言葉には二つの意味があり、ドラマの中での女の子のように、目の病気が原因で視力の回復が見込めない社会的弱視(ロービジョンとも言われます)と、小さい時にものをはっきり見ることができないために視機能が発達していない医学的弱視があります。今回のクリニック通信では医学的弱視についてのお話です。

○視覚の感受性期

正常新生児は、各眼ほぼ0.02の視力を有しているといわれており、外の世界がぼんやりとしか見えません。ものを見ることによって視力が発達し生後3カ月で0.05、6カ月で0.1、1歳で0.2～0.3、2歳で0.6、3歳で1.0に達するといわれています。この発達に対する感受性は1歳前後が高く6～8歳ごろに低下します。感受性期に近視・遠視・乱視などの強い屈折異常や斜視、その他の病気などが原因で、目に見える像をはっきりと眼の奥にピントが合わせて見ることができない状態が続いてしまうと、視力の発達が不十分になります。

○3歳児検診や就学前検診の重要性

視力を正常に発達させるためには、感受性期に左右のそれぞれの眼の奥にピントが合い、鮮明な像が見える状態にすることが大切です。3歳児検診や就学前検診で視力検査が行われるのは、弱視を発見し感受性期内に治療が必要なものは眼鏡などによる治療を開始することがとても重要だからです。検診で精密検査をすすめられたらできるだけ早めに眼科を受診してくださいね。

院長より

あっという間に秋が深まり、特に朝夕が冷え込む季節になりました。今年はインフルエンザとコロナウイルス感染が同時に流行することが心配されておりますので、ますます気を引き締めて院内での感染対策を行い、私自身も十分な睡眠、規則正しい食事、身体を冷やさないようになど、健康管理に気を配り、毎日元気に診療に当たりたいと思っています。今年も残すところあと2か月、これからどうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

11月17日(木)は院長が学校検診に行くため、受付時間に変更になります。ご迷惑をお掛けしますがどうぞよろしくお願いいたします。

午前受付 11時30分終了 午後受付 15時開始

編集者より



一度、3歳児検診の用紙に記載されている受診期限を過ぎてしまったのでどうしようとおっしゃる方がいらっしゃいました。市役所などに一度ご連絡はしていただきたいですが、屈折異常や斜視が見つかるかもしれない機会なので受診には必ずきていただきたいです。たくさんの検査をする場合もありますが怖がらずにきてください。不安なことは先生やスタッフになんでもきいてみてくださいね！

LINE公式アカウント開設！

月1回程度、お知らせを配信中！
QRコードから登録ができます→

